

音 楽（一 般）

1 調査の対象となる教科書の発行者及び教科書名

発行者の番号及び略称		教科書名
17	教 出	中学音楽 音楽のおくりもの
27	教 芸	中学生の音楽

2 教科書の調査研究における観点、視点及び調査方法

観点		視点	方法
(ア)	基礎・基本の定着	① 題材の目標の示し方	目標の示し方と目標に関わるポイントや活動の示し方及びその具体例
		② 歌唱の基礎・基本の定着を図るための工夫	歌唱の技能に関する記載及びその具体例、歌唱共通教材の構成と扱う学年
		③ 創作の基礎・基本の定着を図るための工夫	創作の題材の取り上げ方、題材名、指導事項、創作の題材構成の具体例
		④ 様々な音楽文化についての理解を深める工夫	我が国の音楽文化・諸外国の音楽文化の取り上げ方
(イ)	主体的に学習に取り組む工夫	⑤ 興味・関心を高めるための工夫	巻末の合唱曲と曲数、巻頭・巻末の内容
		⑥ 思考・判断し表現する一連の学習を促すための工夫	思考・判断し表現する一連の学習過程の示し方とその具体例
(ウ)	内容の構成・配列・分量	⑦ 教材の分量及び配列	教材の配列とその具体例及び目次に示された領域ごとの教材数
		⑧ 発展的な学習に関する内容の記述	発展的な学習内容の記述とその具体例
(エ)	内容の表現・表記	⑨ 本文記述との適切な関連付けがなされたイラスト等の活用	キャラクターやマーク等の活用及び写真の内容
(オ)	言語活動の充実	⑩ 鑑賞領域における言語活動の工夫	鑑賞の視点の提示の仕方及びワークシートの工夫とその具体例

【音楽（一般）】

観点	(ア) 基礎・基本の定着
視点	①題材の目標の示し方
方法	目標の示し方と目標に関わるポイントや活動の示し方及びその具体例

	目標の示し方	目標に関わるポイントや活動の示し方	第1学年 鑑賞教材「春～第1楽章～」における目標等の具体例
教出	○ 目次に題材を縦書きでマークと共に示し、該当ページではマークと目標を示している。	○ 見開き左ページ上の教材名の下に縦書きで、学習のポイントを2つずつ示している。	○ 「音楽の要素を捉えながら」 ・旋律やテクスチャ、強弱などから独奏ヴァイオリンと合奏による表現を聴き取ろう。 ・ソネットと音楽との関わりや、音楽の形式を理解して鑑賞しよう。
		○ 〔共通事項〕に示されている用語や記号を見開き右ページ上に、掲載している。	○ 〔共通事項〕に示されている用語 ・Allegro (アレグロ)
教芸	○ 目次の教材名の上に学習の目標を示すと共に、該当ページ見開き左上にも横書きで、学習の目標を示している。	○ 学習活動について「～しましょう。」等の形で示している。	○ 「ソネットを手がかりに、曲想の変化を感じ取ろう。」 ・ソネットに描かれた情景を、作曲者がどのように音楽で表現しているのか感じ取って聴きましょう。
		○ 〔共通事項〕に示されている音楽を形づくっている要素を「学習の窓口」としてマークで示し、音楽学習MAP及び該当ページの学習目標の横に掲載している。	○ 〔共通事項〕に示されている音楽を形づくっている要素 ・音色 ・旋律 ・強弱 ・形式・構成

※〔共通事項〕は、学習指導要領に示されている。

観点	(ア) 基礎・基本の定着
視点	②歌唱の基礎・基本の定着を図るための工夫
方法	歌唱の技能に関する記載及びその具体例，歌唱共通教材の構成と扱う学年

	学年	歌唱の技能に関する記載及びその具体例	歌唱共通教材の構成と扱う学年	
			構成	扱う学年
教出	1	○ 「Let's Sing!」の「歌うための準備」のページにおいて、姿勢、息のコントロール及び母音の発音に関する活動のポイントを示している。イラストを用いて、身体の使い方や言葉の発音などの留意点について記載している。	○ 各学年から1曲（「夏の思い出」「浜辺の歌」「花」）を取り上げ、見開き2ページに歌詞と写真、「作者について」を掲載し、次のページから楽譜を掲載している。 ○ 学習のポイント、楽譜、歌詞、作者の写真と紹介文を掲載している。	夏の思い出 赤とんぼ
	2・3 下	○ 「Let's Try!」の「能の音楽を体験しよう」において、「能『羽衣』キリから（大ノリ）」を取り上げている。学習活動について、「能の謡では、微妙な音の高さの変化が固有の味わいを生み出します。模範演奏を聴いて、まねをしてみましょう。」と記載している。キャラクターの吹き出しにより、「背筋を伸ばし、おなかに力を入れて、大きな声で。」と唄い方のポイントを示している。	○ 「A Message for You」や曲のゆかりの地の写真等を掲載している。 ○ キャラクターの吹き出しにより、学習活動のポイントを記載している。	浜辺の歌 花の街 早春賦 (2・3上) 花 荒城の月 (2・3下)
教芸	1	○ 「My Voice!」のページにおいて、「呼吸は歌声の命」「バランスのよい姿勢」「豊かな響きの歌声づくり」を提示し、それぞれの留意点について記載している。イラストと共に、呼吸、姿勢、歌い方のポイントを示し、「スムーズな呼吸 EXERCISE」「響きづくり EXERCISE」でポイントを踏まえた活動を記載している。	○ 7曲とも共通のタイトル「心の歌」として取り上げ、目次に「共通教材」の記載がある。 ○ 学習の目標、楽譜、歌詞、作者の写真と紹介文を記載している。 ○ 「作詞者の言葉」「作曲者の言葉」や曲に関する写真等を掲載している。	浜辺の歌 赤とんぼ
	2・3 上	○ 「声や音楽の特徴を感じ取って唄おう。」において、長唄「勸進帳」を取り上げている。学習活動について「模範演奏をよく聴き、声の音色や節回しの特徴を感じ取りましょう。」「旋律を少しずつ区切って(①～④)、模範演奏をまねて唄いましょう。」と記載している。「この部分を唄うときに気をつけること」を提示し、イラストと共に唄うときの留意点について示している。	○ 学習目標に迫るための具体的な学習活動について記載している。	夏の思い出 荒城の月 (2・3上) 花 花の街 早春賦 (2・3下)

【音楽（一般）】

観点	(ア) 基礎・基本の定着
視点	③創作の基礎・基本の定着を図るための工夫
方法	創作の題材の取り上げ方, 題材名, 指導事項, 創作の題材構成の具体例

	創作の題材の取り上げ方	学年	題材名	指導事項	創作の題材構成の具体例 (第2学年及び第3学年の構成を工夫して創作する題材)
教出	○「音のスケッチ」として、各学年2～3つずつの活動を取り上げている。	1	○ 楽しいリズム曲をつくろう	「旋律づくり」	○ 第2・3学年下「CMソングをつくろう」の学習の流れ ①活動1「CMソングにする自分の住む地域の名物や名所のキャッチコピーを決め、旋律をつくってみよう。」「言葉のリズムや『ミ』『ソ』『ラ』の三音または『レ』『ミ』『ソ』『ラ』『ド』の五音を使って、旋律をつくってみよう。」 ②活動2「つくった旋律を繰り返して、自分の住む地域のCMソングを完成させよう。」 ③活動3「自分の住む地域のCMソングは、どんな雰囲気になりましたか?つくったCMソングと自分の感じたことを発表して、交流しよう。」
			○ 日本語の抑揚を生かした旋律をつくろう	「旋律づくり」	
			○ 太鼓のための音楽をつくろう	「旋律づくり」 「構成の工夫」	
		2・3上	○ 動機を生かした旋律をつくろう	「旋律づくり」 「構成の工夫」	
			○ 構成を工夫して箏(こと)で表現してみよう	「旋律づくり」 「構成の工夫」	
		2・3下	○ CMソングをつくろう	「旋律づくり」 「構成の工夫」	
○ 音楽を自由に構成しよう	「旋律づくり」 「構成の工夫」				
教芸	○「My Melody」及び「Let's Create!」として各学年1つずつの活動を取り上げている。	1	○ イメージをもとに、構成を工夫して音楽をつくろう。	「構成の工夫」	○ 第2・3学年下「構成を生かしてリズムアンサンブルをつくろう。」の学習の流れ ①「楽器や身の回りのもの、手拍子などの中から、自分が受け持つ音を選びましょう。それぞれの音の特徴を生かしながら、下のリズムを組み合わせて4分の4拍子で2小節のリズムをつくり、ワークシートの[A]のリズム欄に書き入れましょう。」 ②「[1]でつくったリズムをグループ内で発表し合い、それらを重ね合わせることで生まれるリズムのおもしろさや響きに注目しながら、パートの組合せ方をいろいろと試してみよう。」 ③「[A]と[B]が対照的になるようにそれぞれのイメージを決めましょう。[2]で試したことを手がかりにして、パートの組合せ方や強弱を工夫しながら[A]をつくり、ワークシートに書き入れましょう。」 ④「下に示したポイントに着目して、[A]と対照的になるような[B]をつくり、ワークシートに書き入れましょう。」 ⑤「[A]-[B]-[A]を通して演奏し、感想を発表し合ひましょう。」
			○ 日本の音階を使って旋律をつくろう。	「旋律づくり」	
		2・3上	○ 和音の音を使って旋律をつくろう。	「旋律づくり」	
			○ 構成を工夫して、言葉によるリズムアンサンブルをつくろう。	「構成の工夫」	
		2・3下	○ 歌詞の抑揚を生かして旋律をつくろう。	「旋律づくり」	
			○ 構成を生かしてリズムアンサンブルをつくろう。	「構成の工夫」	

「学習指導要領 2 内容 (3) 創作 ア及びイの指導事項より (第1学年)」

※「旋律づくり」…ア「言葉や音階などの特徴を感じ取り、表現を工夫して簡単な旋律をつくること。」

※「構成の工夫」…イ「表現したいイメージをもち、音素材の特徴を感じ取り、反復、変化、対照などの構成を工夫しながら音楽をつくること。」

【音楽（一般）】

観点	(ア) 基礎・基本の定着
視点	④様々な音楽文化についての理解を深める工夫
方法	我が国の音楽文化・諸外国の音楽文化の取り上げ方

	取り上げ方	学年	教材名（歌唱共通教材以外）		学習資料名	
教出	<p>○ 目次において、第1学年「さまざまな音楽文化ー日本とアジアー」、第2学年及び第3学年「さまざまな音楽文化ー日本と世界ー」と示し、歌唱教材と鑑賞教材を掲載している。</p> <p>○ 巻末の「学習資料」に掲載している。</p>	1	民謡	・ソーラン節 ・日本の民謡と芸能		
			箏曲	・箏曲「六段の調」		
			日本とアジアの音楽	・日本とアジアをつなぐ音		
		2・3上	雅楽	・雅楽「越天楽」		<ul style="list-style-type: none"> ・郷土の伝統ある音楽文化にふれる喜び ・ポピュラー音楽図鑑 ・日本の楽器
			歌舞伎	・歌舞伎「勸進帳」		
			民族音楽	・日本と世界をつなぐ音		
		2・3下	民謡	・子守歌（ねんねこころこ） ・谷茶前	<ul style="list-style-type: none"> ・日本と西洋の音楽の歩み ・さまざまな舞台芸術 	
			諸外国の音楽	・くらしとともにあるさまざまな音楽		
			能	・能「羽衣」キリから		
			文楽	・文楽「義経千本桜」から		
教芸	<p>○ 目次の各学年の「心の歌」及び鑑賞活動において学習の目標を示し、教材名を掲載している。</p> <p>○ 各学年の巻末の「資料」に掲載している。</p>	1	箏曲	・箏曲「六段の調」	<ul style="list-style-type: none"> ・日本とアジアの楽器 	
			尺八曲	・尺八曲「巢鶴鈴慕」		
			民謡	・「日本の民謡」		
			アジアの音楽	・「アジアの諸民族の音楽」		
		2・3上	歌舞伎	・「勸進帳」から	<ul style="list-style-type: none"> ・パイプオルガン ・オーケストラの演奏 ・歌舞伎ー見得・六方と舞台ー ・文楽ー三人遣いと舞台ー 	
			文楽	・文楽「新版歌祭文」“野崎村の段”から		
			郷土芸能	・日本の郷土芸能		
			世界の音楽	・世界の諸民族の音楽		
		2・3下	雅楽	・平調「越天楽」ー管絃ー	<ul style="list-style-type: none"> ・能ー面・演技と舞台ー ・能の影響を受けた諸芸能 ・世界の祭りや踊り 	
			能	・「羽衣」から		
			世界の諸民族の音楽	・世界の諸民族の音楽		
			ポピュラー音楽	・ポピュラー音楽		

【音楽（一般）】

観点	(イ) 主体的に学習に取り組む工夫
視点	⑤興味・関心を高めるための工夫
方法	巻末の合唱曲と曲数, 巻頭・巻末の内容

	巻末の合唱曲と曲数			巻頭	巻末
教 出	○ 「歌のアルバム」として, 下の楽曲を掲載している。			○ 「With My Heart 音楽はメッセージ」として, 音楽家のメッセージや演奏場面等の写真を掲載している。	○ 各学年とも折り込みページを設けている。
	学年	曲名	数	音楽家等	内容
	1	「明日への勇気」「君と歩こう」「COSMOS」「心をこめて」「明日を信じて」「翼をください」「さようなら」「故郷」	8	・庄司紗矢香 (口絵①) ・シューベルト (口絵②)	○ 「オーケストラの楽器」として, 弦楽器, 木管楽器, 金管楽器, 打楽器を取り上げている。
	2・3 上	「大切なもの」「With You Smile」「HEIWA の鐘」「かえるがそらを」「雪の降る街を」「小さな雲 (オブラーチェ)」「時計台の鐘」「アメージング・グレイス」「ほたるの光」「故郷」	10	・宮本亜門 (口絵①) ・ベートーヴェン (口絵②)	○ 「日本の楽器」として, 弾きもの, 吹きもの, 打ちものの楽器を取り上げている。
	2・3 下	「たしかな一歩」「SMILE AGAIN」「カントリー・ロード」「地球の息吹につつまれて」「椰子の実」「荒城の月」「大地讃頌」「火の山の子守歌」「仰げば尊し」「故郷」	10	・上妻宏光 (口絵①) ・世阿弥元清 (口絵②)	○ 「さまざまな舞台芸術」として, オペラ, ミュージカル, バレエ, ジンジュ (京劇), 文楽, 能, 歌舞伎を取り上げている。
教 芸	○ 「心通う合唱」として, 下の楽曲を掲載している。			○ 世界や日本の各地で開催されている演奏会やオペラなどの総合芸術の舞台の様子を写真で掲載している。	○ 我が国や郷土の伝統音楽, アジアや世界の諸民族の音楽に関する演奏場面や舞台等の写真を掲載している。
	学年	曲名	数	タイトル	内容
	1	「Forever」「いつか」「unlimited (アンリミテッド)」「てのひら」「星座」「夢を追いかけて」「マイ パラード」「あすという日」「青春の1ページ」「Let's Search For Tomorrow」	10	・「心ときめく音楽との出会い」(口絵1, 2)	○ 「日本とアジアの楽器」として, 打楽器, 弦楽器, 管楽器を取り上げ, 日本とアジアに分けて掲載している。(口絵7, 8, 9)
	2・3 上	「今 この時」「さくら草」「風をみつけて」「心の中にきらめいて」「今日は君の Birthday」「大切なもの」「時の旅人」「蛍の光」	8	・「異次元へと誘う壮麗な舞台」(口絵1, 2)	○ 「パイプオルガン」として, ハレ (ドイツ) のパイプオルガンを取り上げ, その説明を掲載している。(口絵5) ○ 「オーケストラの演奏」として, オーケストラが演奏の様子, 木管楽器, 金管楽器, 弦楽器, 打楽器を取り上げている。(口絵6, 7) ○ 「歌舞伎一見得・六方と舞台」として, 見得, 六方及び歌舞伎の舞台を取り上げている。(口絵8) ○ 「文楽一三人遣いと舞台」として, 主遣い, 左遣い, 足遣い及び文楽の舞台を取り上げている。(口絵9)
	2・3 下	「青空」「いつまでも」「美しい約束」「旅立ちの日に」「大地讃頌」「名づけられた葉」「仰げば尊し」	7	・「受け継がれる祖国への思い」(口絵1, 2)	○ 「能一面・演技と舞台」として, 面, 演技及び能の舞台を取り上げている。(口絵5) ○ 「能の影響を受けた諸芸能」として, 能の演目と, 能の影響を受けてつくられた歌舞伎, 文楽, 組踊の演目を取り上げている。(口絵6, 7) ○ 「世界の祭りや踊り」として, ボリビア, スイス, ブータン, マリの祭りや踊りを取り上げている。(口絵8, 9)

観点	(イ) 主体的に学習に取り組む工夫
視点	⑥思考・判断し表現する一連の学習を促すための工夫
方法	思考・判断し表現する一連の学習過程の示し方とその具体例

第2・3学年上「創作」における学習活動の展開			
	題材の目標等	思考・判断し表現する一連の学習過程の示し方	思考・判断し表現する一連の学習過程の具体例
教出	○ 題材の目標 「動機を生かした旋律をつくろう」 ・「自由に選んだ数字をもとに動機をつくろう。」 ・「動機を反復・変化させて旋律をつくり表現しよう。」	○ 活動1, 活動2, 活動3の順で, 思考・判断し表現する一連の学習過程を示している。	○ 活動1「自由に選んだ日付や時刻で動機をつくろう。」 ○ 活動2「自分の動機ができれば, それを反復させたり変化させたりしながら, 旋律をつくってみよう。」 ○ 活動3「反復や変化のさせ方の例①～④などを参考にして, 8小節程度のまとまりのある旋律にしてみよう。」
		○ キャラクターの吹き出しにより, 学習活動のポイントを示している。	○ 「できあがった動機を, 何度もリコーダーで吹いたり, ローズさんだりして, 特徴を感じ取ってみよう。」 ○ 「自分のつくった動機を上のを参考に变化させ, どのように雰囲気が変わったかをメモしておきましょう。」 ○ 「終わり方も工夫してみるとおもしろいわね。」 ○ 「できあがった作品は, お互いに紹介し合って, それぞれのよさやおもしろさについて話し合ってみましょう。」
教芸	○ 題材の目標 「和音の音を使って旋律をつくろう。」 ・「和音に含まれる音を使って, 4分の4拍子の旋律をつくりましょう。」	○ Warming up, ①, ②, ③ challenge!!の順で, 思考・判断し表現する一連の学習過程を示している。	○ Warming up「下の『和音と低音』を繰り返し聴いて, 響きの移り変わりを感じ取りましょう。」 ○ ①「左から順に, 和音に含まれる音の中から1つずつ音を選んで旋律をつくり, ワークシートの□に階名を書き入れましょう。」 ○ ②「つくった旋律を階名で歌ったり, 楽器で演奏したりして, 気に入った音の動きになっているかを確認しながら, いろいろと試してみよう。」 ○ ③「気に入った旋律ができればワークシートの五線に音符を書き入れ, 『和音と低音』に合わせて演奏し, 感想を発表し合いましょう。また, みんなでアの部分のリレーして演奏してみよう。」 ○ Challenge!!「下の㊦を参考にして, 自分のつくった旋律をアレンジ(編曲)してみよう。」
		○ キャラクターの吹き出しにより, 学習活動のヒントを示している。	○ 「音の動きをもっとなだらかにして, 歌いやすい旋律にしたいな。」 ○ 「この『和音と低音』の動きは, 『カノン』以外の曲にもよく使われているよ。」

【音楽（一般）】

観点	(ウ) 内容の構成・配列・分量
視点	⑦教材の分量及び配列
方法	教材の配列とその具体例及び目次に示された領域ごとの教材数

	教材の配列	具体例（教材数）		目次に示された領域ごとの教材数			
		第1学年の配列		領域	学 年		
					1年	2・3年上	2・3年下
教 出	<p>○ 各学年とも、歌唱教材、鑑賞教材、創作、学習資料（楽典を除く）、合唱曲集、国歌「君が代」、楽典の順で配列している。歌唱や創作等のヒントとなる「Let's sing!」「Let's Try!」を掲載している学年もある。</p> <p>○ 目次で、「音楽の要素をとらえながら」、「様々な音楽文化－日本とアジア－」（第1学年）、「歌い合わせ聴き深める喜び」の3つの柱でまとめて配置している。</p>	<p>①歌唱教材（10）</p> <p>②鑑賞教材（6）</p> <p>③創作（3）</p> <p>④学習資料（3）</p> <p>⑤歌のアルバム（8）</p> <p>⑥国歌「君が代」</p> <p>⑦楽典 （「Let's sing!」、「Let's Try!」は除く）</p>	領域				
			歌唱	18	19	18	
			鑑賞	6	7	6	
教 芸	<p>○ 各学年とも、歌唱教材及び創作、鑑賞教材、合唱曲集、資料（口絵を除く）、国歌「君が代」の順で配列している。歌唱や創作等のヒントとなる「ここが分かれば Grade up!」「確認しよう」「発声」「指揮」をすべての学年で掲載している。</p> <p>○ 歌唱と創作の活動を関連させながら配置している。</p>	<p>①歌唱教材（10）</p> <p>②鑑賞曲（1）</p> <p>③創作（1）</p> <p>④鑑賞教材（5）</p> <p>⑤歌唱教材（1）</p> <p>⑥創作（1）</p> <p>⑦鑑賞教材（1）</p> <p>⑧歌唱教材（2）</p> <p>⑨心通う合唱（10）</p> <p>⑩音楽の約束</p> <p>⑪国歌「君が代」 （「ここが分かれば Grade up!」「確認しよう」「発声」「指揮」は除く）</p>	歌唱	23	20	17	
			鑑賞	7	8	10	
			創作	2	2	2	

【音楽（一般）】

観点	(ウ) 内容の構成・配列・分量
視点	⑧発展的な学習に関する内容の記述
方法	発展的な学習内容の記述とその具体例

	発展的な学習内容の記述	具体例	
		学 年	各学年における具体例
教 出	○ 各学年とも、目次に「 発展 …中学校音楽で定められた学習内容の他に、さらに学習したいときには取り組んでみましょう。」と示すとともに、該当ページを1ページ設け、イラストと文章で記述している。	1	発展 『『音』ってなあに？』
		2・3上	発展 「音の三要素PART-1」
		2・3下	発展 「音の三要素PART-2」
教 芸	○ 各学年とも、目次に、「発展的学習（学習指導要領の示す範囲を超えた学習内容で、必要に応じて学習するものです。）」と示すとともに、口絵や鑑賞教材を掲載したページに、写真と文章で記述している。	1	閑かさや岩にしみ入る蝉の声 この頃、日本では・・・！？
		2・3上	ふるさとへの誇りを胸に アカペラ (a cappella) の語源 この頃、日本では・・・！？
		2・3下	世界に誇る日本の宝物 この頃、日本では・・・！？

観点	(エ) 内容の表現・表記
視点	⑨本文記述との適切な関連付けがなされたイラスト等の活用
方法	キャラクターやマーク等の活用及び写真の内容

	キャラクターやマーク等の活用	写真の内容
教 出	<p>○ 目次で、「音楽の要素を捉えながら」、「さまざまな音楽文化ー日本とアジアー」（第1学年）、「歌い合わせ聴き深める喜び」の3つの柱と、それに含まれる題材をそれぞれ色分けしているとともにマークで示している。</p> <p>○ 目次と該当ページにおいて、歌唱共通教材にマークを付けている。</p> <p>○ 楽典ページにおいて、中学校で新しく学習する用語や記号を示すマークを見開き左ページ横に示し、本文で取り扱っている該当ページ番号を記載して、該当の用語や記号の横に示している。また、該当ページの見開き右ページ上にも示している。</p> <p>○ キャラクターとして、男の子・女の子・先生が登場し、学習のヒント等を吹き出し等で示している。</p>	<p>○ 写真(巻頭、巻末を除く)は次のようなものを掲載している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・曲の情景を表した写真 ・作詞者、作曲者の写真 ・楽器及び演奏場面の写真 ・日本の伝統音楽及び諸外国の音楽文化に関わる写真 ・音楽と生活との関わりに関する写真

【音楽（一般）】

教 芸	<ul style="list-style-type: none"> ○ 音楽学習MAPの「学習の窓口」において、〔共通事項〕で示されている音楽を形づくっている要素をマークで示し、該当ページの学習目標の横にも同様のマークを示している。 ○ 目次、音楽学習MAP、該当ページで、歌唱共通教材には「心の歌」という共通のロゴを示している。 ○ キャラクターとして、男の子・女の子・男性・女性が登場し、学習のヒント等を吹き出し等で示している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 写真(巻頭、巻末を除く)は次のようなものを掲載している。 <ul style="list-style-type: none"> ・曲の情景を表した写真 ・作詞者、作曲者の写真 ・楽器及び演奏場面の写真 ・日本の伝統音楽及び諸外国の音楽文化に関わる写真
--------	--	--

観点	(才) 言語活動の充実
視点	⑩鑑賞領域における言語活動の工夫
方法	鑑賞の視点の提示の仕方及びワークシートの工夫とその具体例

	鑑賞の視点の提示の仕方及びワークシートの工夫	第1学年 鑑賞教材の具体例
教 出	<ul style="list-style-type: none"> ○ 鑑賞の視点 <ul style="list-style-type: none"> ・学習のポイントとして視点を示している。 ・キャラクターの言葉として吹きだしの中に視点を示している。 ○ ワークシートの工夫 <ul style="list-style-type: none"> ・聴き取ったことや感じ取ったことを書き込める欄を設け、記入した内容をもとに、言葉で伝え合う活動を設定している。 	<p>「春 第1楽章」における具体例</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 学習のポイント <ul style="list-style-type: none"> ・旋律やテクスチュア、強弱などから独奏ヴァイオリンと合奏による表現を聴き取ろう。 ・ソネットと音楽との関わりや、音楽の形式を理解して鑑賞しよう。 ○ キャラクターの言葉 <ul style="list-style-type: none"> ・「ソネットに描かれている情景と音楽との関わりについて、聴き取ったことや感じ取ったことをまとめておきましょう。」 <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p style="text-align: center;">伝えてみよう！</p> <p style="text-align: center;">ソネットと音楽の関わりで、いちばんおもしろいと思ったところを、みんなに紹介する文章を書いてみよう。</p> </div>
教 芸	<ul style="list-style-type: none"> ○ 鑑賞の視点 <ul style="list-style-type: none"> ・学習活動の内容を示す文に視点を示している。 ・「ここに注目してみよう！」において、視点をキーワードで示している。 ○ ワークシートの工夫 <ul style="list-style-type: none"> ・「ここに注目してみよう！」において、音の高さの変化について聴き取ったことや音楽がそのように変化した理由について記述する欄を設定している。 	<p>「魔王」における具体例</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 学習活動の内容を示す文 <ul style="list-style-type: none"> ・詩の内容をよく理解して、場面の様子を想像しながら聴きましょう。 ・語り手、父、子、魔王の旋律の雰囲気や歌い方の違いを感じ取りながら聴きましょう。 ○ 「ここに注目してみよう！」で提示したキーワード <ul style="list-style-type: none"> ・「音の高さの変化」 ・「伴奏の形の変化」 <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p>○ ワークシートの実際</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「おとうさん、おとうさん」と子が呼んでいる部分で (p. 36, 37の の部分) で、音の高さがどのように変化しているのか調べて書きましょう。 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p>・どうしてそのように変化しているのか、その理由を考えて書きましょう。</p> </div>